

平成28年4月1日

北海道吹奏楽連盟 御中

函館地区吹奏楽連盟  
理事長 成 田 良 太

## 函館地区吹奏楽連盟からの意見要望書

### 1 コンクール時間短縮の方策について

全道大会を運営されている北海道吹奏楽連盟の理事の皆様や、係を担当されている理事の皆様、学生の皆様におかれましては4日間にわたり、しかも長時間の運営、相当のご苦勞があった事と感じております。深く感謝申し上げます。そのような現場の状況を鑑みての今回の時間短縮の方策については、当事者の立場で全会員が考え、改善策を練らなければならない重要な問題と函館地区では考えております。

今回の時間削減の方策については、大変重要な喫緊の課題であると思います。しかし、改定しようとしている「部門をまたいで統合」については、短期間の議論で結論を得るべきではないと考えます。また、代表数が増える部門については、全ての団体に周知し、より多くの団体が意見を述べる場を設け、その意見に対する道吹連からの回答を伝えて、最終的に道吹連が示す改定案に「理解を得ていただくこと」という手順が必要です。その場合どうしても「最低でも2年以上の期間」がかかります。

それを踏まえて、函館地区からの意見と要望です。

- ①大学Bと大学Cを統合することは、出場数も少なく、時間削減上やむを得ない。
- ②一般Bと一般Cを統合することは、出場数も少なく、時間削減上やむを得ない。
- ③統合した大学BCと一般BCを更に統合する「大学以上小編成の部」に関しては、団体の構成世代、団体の練習形態、練習時間も全く異なる（特に大学部門において高校生世代を含む高専が出場している）ため、コンクールという競い合う場としては相応しくないので反対である。
- ④時間の削減の方策を考えるのと同時に「A編成の育成」にも乗り出すべきであり、中学校・高校ともB編成を30名以内、C編成を20名以内に変更し、A編成へのチャレンジ数を増やすべきである。
- ⑤現在、コンクールの時間短縮で一番の問題点は「日曜日の出場団体を希望している部門が多いこと」「日曜日の出場団体が増加していること」であり、日曜日の出場団体を土曜日への移動を検討することで解消されると思われる。函館地区所属の小学校団体では「代表数を減らすくらいであれば、土曜日に小学校部門を変更しても良い」という意見が大勢を占めている。よって、小学校部門・B編成・C編成の地区代表枠の基準を変更することはせず、小学校部門を土曜日に変更し、他部門（高等学校B編成）と入れ替えることで、4日間の平均化を図って頂きたい。少子化に向かっている時代に基準を厳しくすることで、団体のモチベーションが下がることが懸念される。全道の発表の場を、今まで通り多くの団体に味わわせることにより、将来の吹奏楽人口を増やすことに繋がると考える。是非とも検討をお願いしたい。

以上